



クローバー

Clover

2025.Dec.
vol.79



理念

私たちは、良質で安全な医療を提供し、
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。

基本方針

- 1 患者さんの権利と尊厳を尊重し、患者さん中心の医療を推進します。
- 2 患者さんに信頼される質の高い医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、高度専門医療、救急医療、小児・周産期医療、災害医療および感染症医療を提供します。
- 4 地域連携を推進し、必要とされる医療を提供することで、地域・社会へ貢献します。
- 5 職員の教育・研修を推進するとともに、次世代を担う医療人を育成します。
- 6 チーム医療を推進し、経営の健全化と明るく働きがいのある職場をめざします。

目次

特集 救命救急センター	1、2
医療技術局 歯科衛生科	3
地域のいのちを守るために 君津中央病院企業団「経営強化プロジェクト」	4
患者総合支援センター	5
大佐和分院/君津中央病院附属看護学校	6
インフォメーション	7



認定第 JC295-5 号
一般病院 2
(3rdG:Ver.3.0)
2024.8.23 ~
2029.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるよう、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

特集

救命救急センター



←
ドクターヘリ
『10の証言』



ドクターヘリ

平成21年1月19日に千葉県内で2機目のドクターヘリの運用が当院にて開始されました。主に千葉県の南半分を担当区域としてドクターヘリ事業の運用を行っています。運航開始から令和6年度末まで累積7,328件の出動実績がありました。



フライトナース密着取材!
マイナビ看護師のYouTubeチャンネルで
近日公開予定!



君津中央病院

救命救急センター

重篤救急患者さんの救命医療を目的に設置され、重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤救急患者さんに対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供できる機能を有しているセンターです。

現在、千葉県内には、15の救命救急センターがあります。

その一つである当院は、昭和59年3月31日に救命救急センターの指定を受けました。

その後、平成8年に現副院長である北村伸哉先生が当院で救急・集中治療科を開設され、常勤救急医及び集中治療医による救命救急センターの運用が本格的に開始されました。

救命救急センターでは、救急科、集中治療科の専門医が多発外傷、急性中毒、多臓器不全、心肺停止などの重症患者さんの初期診療および集中治療室での診療を行っています。複数の診療領域にわたる重症患者さんに関しては、疾患や傷病に関連する診療科の専門医とも連携を行いながら診療を行っています。

また、脳神経外科および脳神経内科の専門医が脳卒中患者さんを、循環器内科および心臓血管外科の専門医が心筋梗塞や急性大動脈症候群などの循環器疾患患者さんの診療を行っています。



ヘリコプター乗員向け不時着対応訓練（ADC）を受講してきました



2025年4月に長崎県で医療搬送用ヘリコプターが洋上に不時着した事故を受け、洋上に不時着した際の行動を学ぶ訓練を体験しました。

このコースは、クルーが不時着水した機体から、避難及び脱出に必要な技術を習得することを目的としています。実際に水没したシミュレーターからの脱出も体験し、生存するために必要な手順を学びました。

ドクターヘリに搭乗する業務は、危険が伴います。しかし、フライトドクター・フライトナース以外にも、パイロット・整備士・コミュニケーションスペシャリスト（CS）を含め、医療クルー全員で安全管理を徹底しており、チームで取り組む、とてもやりがいのある仕事です。

フライトナースに興味がある方は是非一緒に活動できればいいと思います。
（フライトナース 岡本淳平）

当院の救命救急センターは、君津保健医療圏において

- ① 重篤救急患者さんに対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供する役割。
- ② 地域の病院と連携し、日夜地域の皆さまに救急医療を提供する役割。
- ③ 地域の医療を支えて頂いている医師会の皆さま方の最後の砦としての役割。
- ④ 災害時、地域災害拠点病院として災害対応の主要機関としての役割。
- ⑤ 地元の救急救命士をはじめとする救急隊員の教育・研修に取り組むメディカルコントロールの拠点としての役割。
- ⑥ 救急科専門医を始めとした専門医養成の研修修練機関としての役割。

などを引き続き果たしていきたいと思っております。

また、今後起こり得る当医療圏の医療体制の変化に応じて、当救命救急センターの役割も柔軟に対応できればと考えております。

（救命救急センター 加古訓之）



医療技術局

歯科衛生科

当科は歯科衛生士8名と歯科助手3名で構成され、外来25にて歯科医師3名・クラーク1名と共に勤務しています。

私達はほぼ毎日親知らず抜歯に立ち会っていますが、患者さんにとっては、いざ親知らずを抜くとなると不安に感じる方も多いと思います。そこで今回は親知らずの抜歯についてお話しします。

親知らずの抜歯は、歯の生え方によって手術方法が変わります。まっすぐに生えている親知らずは、他の歯を抜くのとほぼ同じように行えます。

手順は麻酔をし、歯を脱臼させて抜き、抜歯して開いた穴の中をきれいにしてから縫って終わります。

横になっていたりと、歯肉の下に潜って見えない場合は、歯肉を切って覆っている骨を削り、歯を割って取り出します。所要時間は1本あたり30分〜1時間ほどです。その間お口を開け続ける大変さがあります。また抜歯を進めていくと痛みを感じる場合があります。その際は痛みがあることを伝えていただき、麻酔を追加していきます。一般的には外来に

て日帰りで行います。上下片側2本抜歯まではほぼ可能です。

また1泊入院もあり、左右の親知らずを同時に抜く際に選択します。外来で行い、麻酔は日帰り抜歯と同じですが、痛み止めや抗生物質など点滴を使用出来るため、術後は痛みのコントロールをつけやすく、日帰り抜歯より安心です。

他には全身麻酔下での抜歯もあり、通常3泊4日を予定します。4

本同時に抜きたい、抜歯が怖いなどといった際に選択します。また親知らずの位置が神経に近い場合は神経を傷つけないよう慎重に行うため抜歯に時間がかかります。その際も全身麻酔を選択します。処置中は眠っているため、痛みを感じず楽に行えます。3つの中から歯科医師や歯科衛生士と相談し決めていきます。

親知らず抜歯希望の際は、まずはかかりつけ医にご相談ください。そちらで抜歯が可能な場



人事行政の運営等の状況の公表

令和6年度人事行政の運営等の状況を病院ウェブサイトに掲載しました。

●詳細はホームページから

ホーム → 君津中央病院企業団 → 人事行政の運営等の公表をご覧ください。



合もあります。また当院で抜歯される場合は、かかりつけ医からの紹介状をご持参ください。ご自身にとって適した方法を一緒に考えていきましょう。

(歯科衛生科 西濱彩乃)



君津中央病院企業団「経営強化プロジェクト」

いま、病院経営は大きな苦境に立たされています

医療の現場では、物価高や人手不足など、日々たくさんの課題に直面しています。もはや、救急やがんなどの専門医療を提供する病院では、国に定められた診療報酬だけでは、病院経営を黒字化することが極めて難しい状況となっています。私たちも残念ながら令和6年度は赤字経営となってしまいました。

でも、私たちはあきらめません。「必要なときに、必要な医療を受けられる」地域医療の最後の砦としての使命を果たすためには、経営の安定が不可欠です。私たちは、企業長直轄の「経営強化プロジェクト」を発足し、職員一丸となって経営強化に取り組んでいます。

「経営強化プロジェクト」の主な取り組み

収益を上げることは重要ですが、当然、医療の質を下げることなく地域の医療ニーズに応えていかななくてはなりません。そこで、収益性と医療ニーズを両立させるため、①病床運用の見直しと救急受入れの強化、②紹介患者の増、③収益構造の分析、④自費料金の見直し、⑤診療報酬算定の強化、⑥費用削減の6つの柱をかけた、経営強化に取り組んでいます。

経営強化の成果の例

●DPC医療機関別係数の向上

DPCとは、診療報酬について1日あたりの包括支払を行う制度で、1日当たりの診療報酬点数に係数をかけて算定します。この係数*には、「病院の機能や実績」が反映されますが、君津中央病院本院は、令和7年度は千葉県内で2番目に高く評価されています。

(*医療機関別係数1を除く。大佐和分院はDPC対象外病院。)

●入院患者数の増

働き方改革による医師不足の影響、また、慢性的な看護師不足の中においても、病床運用の最適化・効率化を進めることで、令和6年10月にコロナ禍で閉鎖していた13床の再稼働を果たし、冬の救急患者の増加に対応することができました。令和7年度も引き続き多くの入院患者さんを受け入れています。



地域のみなさまへ

医療は病院だけでは成り立ちません。患者さん、家族、地域の医療機関、そして地域のみなさまとの「つながり」が、これからの医療をつくっていきます。これからも地域とともに歩む病院を目指して、取り組みを継続してまいりますので、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いたします。

この記事に関するお問合せ先：君津中央病院 経営企画課

● 出前講座について

患者総合支援センターの業務のひとつ
に『出前講座』があります。

『出前講座』は、君津医療圏（木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市）の住民の方や団体が、医療をテーマとする講座の開催を希望する場合に、当院の医療スタッフが伺いしってお話をさせていただくもので、地域の皆さまの健康づくりの支援を目的としています。

会場を確保し、受講者を10名以上集めていただければ、講演料や講師の交通費などの費用は不要でご利用いただけます。

お話の内容は、決められたテーマの中から選んでいただきますが、今年度は46のテーマを用意しており、いずれのテーマも関連する知識や経験を有する医療スタッフがお話しいたします。公民館の市民向け講座として利用されることが多い『出前講座』ですが、自治会や個人でもご利用になれます。詳しくは、ホームページをご覧ください。



● 厚生労働省『上手な医療のかかり方』
のリニューアル

『出前講座』の冒頭で「上手な医療のかかり方」についてお話をします。その参考にしているサイトがリニューアルされたので広報ツールの更新状況確認のため「ニュース・イベント」情報を見ていたところ、「上手な医療のかかり方大使（広報大使?）」を5年間務めていたミュージシャンのデーモン閣下が、かかりつけ医の勧めで内視鏡検査を受けたところ早期の癌が見つかり治療を受けたとのこと。本誌74号でも「かかりつけ医」についてご案内しましたが、デーモン閣下も「かかりつけ医」や「検診」の大切さを再認識されたようです。

肝心のこのサイトですが、「すぐに病院に行った方がよいか」や「救急車を呼ぶべきか」迷ったときに電話で相談できる救急安心センター事業#7119（子どもさんは、子ども医療電話相談事業#8000）や、かかりつけ医を探すための「医療情報ネット（ナビイ）」について、わかりやすく説明されていますので是非ご覧ください。

各サイトがご覧
になれます。



がんサロン開催のお知らせ

がん患者さんやご家族が病気の悩みや体験を語り合うサロンを開催しています。治療に関する情報交換や日々の生活での悩みや不安を共有し、前向きに生きていくためのサポートを行っています。お気軽にお越しください。

日時	令和7年12月19日(金)、令和8年1月16日(金)、2月20日(金) 毎月第3金曜日 14時30分から16時まで
場所	君津中央病院 4階 講堂 1 * 予約は必要ありません。費用無料です。
お問合せ先	電話 0438-36-1071(代) 担当：がん相談支援センター

大佐和分院からのお知らせ

大佐和分院では、人間ドック、特定健診、各種予防接種などを行っていますので、お問い合わせください。

●人間ドック

病気の早期発見及び健康の維持増進を目的に、自身の健康状態を把握することができる人間ドックをこの機会に受診されますようご案内します。

実施している曜日：毎週火曜日と金曜日(予約制)

申込方法：電話(0439-65-1251)か直接ご来院していただき、お申込みください。

※基本検査、オプション検査項目及び費用の詳細については、お問い合わせください。

●予防接種について

各種予防接種(小児・高齢者肺炎球菌、带状疱疹、HPVなど)を実施しています。

診察時に内科担当医にご相談いただくか、予防接種のみでの受診も可能ですので、電話(0439-65-1251)にてお問合せください。

●睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査とCPAP療法

診察時に内科担当医に、ご相談ください。

●栄養相談

管理栄養士による栄養相談指導を行っています。診察時に内科担当医に、ご相談ください。

●嚥下造影検査

食べ物が飲み込みづらい、むせることが多くなったなどの方に対して、飲み込みの状態を検査しています。診察時に、内科担当医にご相談ください。



君と作る
看護の未来

君津中央病院附属看護学校
学校見学会 3月27日開催予定

詳細&
お申し込みは
こちらから →



第2回 医療専門職を目指す高校生のための見学会を開催しました

2025年8月20日に医療専門職を目指す高校生のための見学会を開催し、県内9つの高校から35名にご来場いただきました。座談会、院内ツアー、職業体験プログラムを通して、「今後の進路選択において非常に参考となった」というお声を多く頂戴いたしました。実際に現場を見て、話を聞いて、体験頂くことで、皆さんの夢を応援できたらいいなと思っています。

君津中央病院では、様々な医療専門職が働いています。もしかしたら、あまり知られていない職業もあるかもしれません。来年も夏休みに開催したいと思っていますので、是非、学校からのご案内や、当院ホームページをチェックしてみてください。

今回見学を募集した医療専門職

薬剤師・診療放射線技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床検査技師
臨床工学技士・管理栄養士・調理師・歯科衛生士・視能訓練士・公認心理師
治験コーディネーター・がんゲノム医療コーディネーター



見学会の様子



就職希望者向け
の見学は、
随時受付中!!



Topics

今年の6月、大貫海岸にて13歳の少年が強風の中遊泳していた際に波に流される事故が発生しました。

堤防につかまり救助を求めていた際、近くに居合わせた当院呼吸器内科医師である堂脇医師含む計4名が救助にあたり、少年が無事救助され、8月に富津市消防本部より感謝状が授与されました。



令和7年8月5日
感謝状贈呈式
富津市消防本部
にて